|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **※ 全体でＡ４縦１ページに収まるように記述してください。** | | | | 地域名 | 東海/関西 |
| チームID | S180924001 | チーム名 | てすにゃんV3 | | |

|  |  |
| --- | --- |
| チーム紹介 |  |
| 誰も同じ所属ではない有象無象のテスト傭兵部隊(3年目)。「ひこにゃん」ではありません。  【メンバ】  すはら…第三者検証テスト会社の人。いわた…某組み込み系のソフト屋。  なかはら…某組み込み系のテスト屋。えのき……OSSのQA担当。  おーだん…何でも屋 テスト担当。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| コンセプト |  |
| 禁止マークのイラスト「プロダクトのリリースを止めるバグを許容範囲まで減らす！」  ブルースクリーンのイラスト | |

|  |  |
| --- | --- |
| 工夫点 |  |
| 私たちは、オープンソースソフトウェア開発コミュニティのQAチームとして、個人の限られた期間を利用して、プロダクトのリリースを止めるバグを減らすためにどう取り組むべきか、テストで対処するためにはどうしたらよいかを考え、工夫しました。  【利用技術】  フォールトツリー(FTA、FMEA)、HAZOP、バグ予測アルゴリズム  【テストアーキテクチャ】  私たちは、テストアーキテクチャで以下のことを、ステークホルダと合意することで、「プロダクトのリリースを止めるバグを許容範囲まで減らす」ためのテストを実現します。  ステークホルダ:コミュニティメンバ(サプライヤ、オーナ含む)  合意事項:   1. 事象の被害金額とリスク値 2. 対処する起こってほしくない事象 3. 起こってほしくない事象の対応者 4. テストの重み(カバレッジ) 5. テストタイプ(対応方法) | |